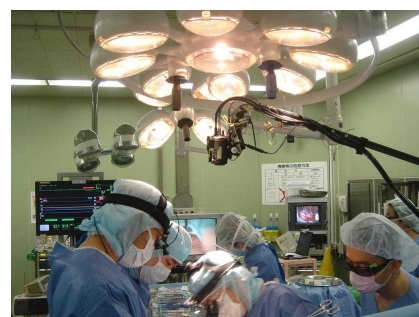


お知らせ

小児心臓外科手術3Dハイビジョン裸眼撮影に成功

F A システムエンジニアリング株式会社（社長 中村康則 住所：愛媛県松山市北藤原町 1-26）と株式会社NHKメディアテクノロジー（社長 西山博一 住所：東京都渋谷区神山町 4-14）および株式会社メディカル・パイン（社長 松村謙一 住所：東京都千代田区猿楽町 2-7-1）は、京都府立医科大学附属小児疾患研究施設 小児心臓血管外科 教授 山岸正明先生らと共同で、**裸眼 3D ハイビジョンカメラ撮影による小児心臓外科手術（手術名称：完全大血管転位症に対するハーフターンド・トランカススイッチ手術）の撮影方法を 2010 年の 3 月より共同研究していましたが、執刀医とほぼ同一目線でより自然な裸眼 3D 映像の撮影に世界で初めて成功しました。**

昨年の 6 月には、より自然に近いメガネ方式の裸眼 3D 映像の撮影に成功していますが、今回は S u r g e C a m カメラを裸眼撮影用に改良し、小児心臓外科手術撮影に臨みました。R（右目用カメラ）と L（左目用カメラ）の 2 眼カメラより出力される映像を、今回開発した裸眼画像合成装置で処理させる事によって、**より自然な裸眼 3D 撮影**に成功しました。（写真参考）収録した裸眼 3D 映像を編集し、裸眼 3D テレビでの視聴を可能としました。また、この裸眼 3D カメラと当装置を使用することでエンターテインメントの実写撮影収録も可能となりました。



（上部が裸眼 3D カメラ）

執刀医の山岸教授は「メガネから解放される裸眼 3D 映像は外科手術の教育分野においては非常に有意義な技術である。術野に入る助手のみならず手術室内の全てのスタッフ、学生が術者と同じ目線で手術を体感することができる。また、録画映像は教育的価値が非常に高い。イラストや 2D 画像では伝えることが困難な手術手技の細かいノウハウが 3D 画像により体感でき、正確に理解することが可能となる。

特に、今回撮影を行った『ハーフターンド・トランカススイッチ手術』は、われわれが世界で初めて成功した完全大血管転位症に対する画期的な手術であり、貴重な手術を術者と同じ視線で、かつ 3D で見られることは臨床的、教育的観点からも非常に意義のあることである。」と評価されました。

本裸眼 3D 映像「完全大血管転位症に対するハーフターンド・トランカススイッチ手術」は 3D 医療コンテンツとして、2012 年 7 月 5 日（木）～7 日（土）国立京都国際会議場での日本小児循環器学会総会・学術集会（HP アドレス：<http://jspccs48.umin.jp/>）にて大型裸眼 3D テレビで展示を予定しています。

当コンテンツは、裸眼（^{アイ}・^{アイ}方式）3D テレビ、偏光メガネ方式、アクティブシャッター方式等の世界の主要な 3D TV モニターで視聴可能です。

以上

裸眼視聴機器



【お問い合わせ先】



F A システムエンジニアリング株式会社 中村康則

本社：〒790-0033 愛媛県松山市北藤原町 1-26

TEL：089-931-2886 FAX：089-941-0336

URL：<http://www.fase.co.jp> E-Mail：faseinfo@fase.co.jp